

言い伝え (παράδοσις—パラドオシス、Tradition)

一般的な意味とは別に新訳聖書に出てくる「言い伝え」とは、律法を厳格に守ろうとする意図から、ユダヤ人律法学者が補足・解釈し口伝で伝承してきたもので拘束力がありましたが、彼らは、必要以上に事細かに律法を拡大解釈し、これを民衆に押し付けた結果、民衆を圧迫し、形式的に流れることがしばしばで、ときには律法からはずれ、甚だしきは律法とはまったく反対の結果を生じることとなりました。(例：マタイによる福音書 15：5-6)

主イエスは、このことで、律法学者やファリサイの人々を激しく非難し、おたがい決定的な対立を生じさせる結果となりました。

(参照文献：ESV Study Bible

注解・索引・チェーン式引照付新改訳聖書)